

分野	項目	策定時	年度	現状値	年度	目標値	年度	平成28年度 健康づくり事業の主な取り組み	
がん	①75歳未満のがんの年齢調整死亡率の減少 (10万人当たり)	80.2	H22年	—		73.9	H29年	①発症予防 ・肝炎ウイルス検査費用の公費助成(40歳) ②がん検診受診率の向上 ・がん検診手帳の配布と無料検診の実施 子宮頸がん検診 20歳 乳がん検診 40歳 ・5年間未受診者に対して、受診勧奨と無料検診の実施 子宮頸がん検診(25.30.35.40歳) 乳がん検診(45.50.55.60歳) ・日曜日検診(4回)、土曜日検診(1回)の実施 ・がん検診と特定健康診査の同時実施(17回) ・検診時に託児の実施 ・がん検診まつりの実施 ・国民保険加入者への受診勧奨 ・40.50.60歳を対象に受診意向調査 市のがん検診の案内と受診希望の取りまとめ 未受診理由の調査 ③重症化予防 ・精密検査対象者に対する受診勧奨	
	②がん検診の受診率の向上								
	・胃がん(40-69歳)	男性 8.3% 女性 9.6%	H23年度	男性 8.9% 女性 9.5%	H27年度	50% (胃がん、肺がん、大腸がんは当面40%)	H29年度		
	・肺がん(40-69歳)	男性 16.6% 女性 24.8%		男性 14.8% 女性 20.5%					
	・大腸がん(40-69歳)	男性 9.7% 女性 12.4%		男性 10.8% 女性 14.2%					
	・子宮がん(20-69歳)	35.4%		29.8%					
	・乳がん(40-69歳)	39.7%		34.8%					
生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底 循環器疾患	①脳血管疾患・虚血性心疾患の年齢調整死亡率の減少 (10万人当たり)							①特定健診未受診者対策 ・訪問等による受診勧奨 ・健康推進員を対象に健診に関する知識の普及啓発 ②発症予防 ・健診受診者の要指導者に対する生活習慣改善への支援の実施 ・内臓脂肪症候群該当者や予備群に対する特定保健指導の実施 ・健診受診者の要指導者に対する二次検査の実施 ・食・運動体験教室の実施。 ・「地域で広める高血圧予防」として、加子母地区で講座を実施 (平成27年度は坂下地区で実施) ③重症化予防 ・重度の高血圧者に対する医療機関への受診勧奨及び継続受診の勧め ・治療中断者に対し治療継続の勧め ・本人の希望に応じて保健指導、栄養指導を実施 ④生命保険会社等とがん検診・特定健康診査の受診率向上に関する協定を締結することで、市民に受診勧奨をしてもらう予定	
	・脳血管疾患	男性 51.3 女性 28.0	H22年	—		男性 41.6 女性 24.7	H34年		
	・虚血性心疾患 (急性心筋梗塞)	男性 22.0 女性 8.7		—		減少			
	②高血圧の割合の減少 (140/90mmHg以上の人の割合)	男性 31.6% 女性 29.4%	H23年度	男性 27.0% 女性 20.4%	H27年度	減少	H34年度		
	③脂質異常症の減少 (LDLコレステロール160 mg/dl以上の人の割合)	男性 9.2% 女性 15.3%		男性 8.4% 女性 14.9%		男性 6.2% 女性 8.8%			
	④メタボリックシンドローム予備群・該当者の減少	予備群・該当者1,067人(20.8%)	H23年度 (法定報告)	1,030人(20.9%)	H26年度 (法定報告)	減少	H29年度		
	⑤特定健康診査・特定保健指導の実施率の向上								
	・特定健康診査の実施率	36.1%		36.2%		60%	H29年度		
・特定保健指導の終了率	51.8%	80.9%	60%						
糖尿病	①糖尿病有病者の増加の抑制 (服薬中またはHbA1c6.1%(NGSP値6.5%)以上の人の割合)	8.9%	H23年度	8.8%	H27年度	減少	H34年度	①特定健診未受診者対策 ・訪問等による受診勧奨 ・健康推進員を対象に健診に関する知識の普及啓発 ②発症予防 ・健診受診者の要指導者に対する生活習慣改善への支援の実施 ・内臓脂肪症候群該当者や予備群に対する特定保健指導の実施。 ・健診受診者の要指導者に対する二次検査の実施。 ・食・運動体験教室、適糖生活セミナーの実施。 ③重症化予防 ・血糖コントロール不良者に対する医療機関への受診勧奨及び継続受診の勧め ・治療中断者に対し治療継続の勧め。 ・治療中の希望者については医師の指示のもと、管理栄養士による栄養指導を実施	
	②治療継続者の割合の増加 (前年度 当該年度共に服薬ありと回答した人の割合)	84.0%		87.3%		現状維持			
	③血糖コントロール指標におけるコントロール不良者の割合の減少 (HbA1c がJDS値8.0%(NGSP 値8.4%)以上の人の割合)	0.4%		0.5%		現状維持			

	分野	項目	策定時	年度	現状値	年度	目標値	年度	平成28年度 健康づくり事業の主な取り組み	
底	生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底	慢性腎臓病	①糖尿病腎症による年間新規透析導入患者数の減少	9人	H23年	7人	H27年	減少	H34年度	①発症予防 ・妊婦健診における将来の生活習慣病ハイリスク者に対する産後フォローの実施(定期健診のすすめ) ・健診受診者の要指導者に対する生活習慣改善への支援の実施。 ・健診受診者の要指導者に対する二次検査の実施。 ②重症化予防 ・腎機能低下の原因となる糖尿病、高血圧、高尿酸等の改善のため、腎機能低下者に対する食生活改善指導や必要に応じて受診勧奨
ライフステージごとの健康に関する生活習慣の改善	栄養・食生活	①適正体重を維持している人の増加 (肥満(BMI25以上)、やせ(BMI18.5未満)の減少)							①健康な食の普及 ・食生活改善推進員協議会によるけんぱち弁当の普及推進 ・図書館とコラボし、8月に野菜摂取向上の普及啓発展示コーナー設置 ・坂下高校生(保健委員)と野菜を使ったおやつレシピと試作 ・市職員食堂と連携し、けんぱち弁当(バランス食弁当)の販売 ・ぎふ食と健康応援店の登録勧奨と普及啓発 ②減塩の意識付けと将来の生活習慣病予防のため3歳児健診での尿中塩分量測定と過剰摂取者へ個別栄養指導の実施 ③食育推進会議の実施 ⑤健康福祉まつりにて食育イベントの実施 ⑥食育指導者研修会の実施 ⑦学校の希望により、肥満及びやせ、血液検査、血圧において異常のあった児童・生徒及びその保護者に対して栄養・食生活改善指導を実施 ⑧特定健診結果より肥満であった方に対し、食生活習慣改善のための個別保健指導及び教室の開催(作って食べよう500kcalのまんぷくヘルシーランチ教室) ⑨市広報、ホームページ「健康なび」及び民間の料理サイト(クックパッド)を活用し、食べて健康レシピ(野菜を使った手軽にできるメニュー)を配信	
		・20歳代女性のやせの人の割合の減少 (妊娠前にやせの人の割合)	22.6%	H23年度	21.2%	H27年度	20%	H34年度		
		・全出生数中の低出生体重児の割合の減少	9.6%	H22年	10.0%	H26年	減少傾向へ	H34年		
		・肥満傾向にある子どもの割合の減少 (小学5年生の中等度・高等度肥満傾向児の割合)	男子4.28% 女子2.88%	H24年度	男子3.82% 女子2.75%	H27年度	減少傾向へ	H34年度		
		・30～60歳代男性の肥満者の割合の減少	23.0%	H23年度	24.3%	H27年度	現状維持又は減少	H34年度		
		・40～60歳代女性の肥満者の割合の減少	14.4%		15.0%		現状維持又は減少			
		・低栄養傾向(BMI20以下)の高齢者の割合の減少	21.1%		23.0%		現状維持又は減少			
		②朝食欠食者の減少	3歳児 4.4% 5歳児 1.6% 小学生 1.1% 中学生 5.5%	H23年度 (5歳児はH24年度)	3歳児 0.8% 5歳児 0.3% 小学生 1.0% 中学生 3.2%	H27年度	0%	H34年度		
		③朝食共食者の増加 (食事を1人で食べる子どもの割合の減少)	5歳児 92.8% 小学生 84.9% 中学生 63.1%	H23年度	5歳児 91.5% 小学生 83.0% 中学生 64.0%	H27年度	増加傾向へ	H34年度		
		身体機能の維持・向上	①運動習慣者の割合の増加	・30～64 歳	男性 29.9% 女性 23.3%	H23年度	男性 26.5% 女性 22.3%	H27年度		男性 36% 女性 33%
・65 歳以上	男性 46.8% 女性 45.8%			男性 43.1% 女性 41.8%	男性 58% 女性 48%					
②介護保険サービス利用者の増加の抑制	3,207人 (13.8%)			H22年度	3,561人 (14.4%)	H27年度	4,666人 (18.7%)	H37年度	* ( )内は介護保険第1号被保険者 サービス利用率	

	分野	項目	策定時	年度	現状値	年度	目標値	年度	平成28年度 健康づくり事業の主な取り組み
ライフステージごとの健康に関する生活習慣の改善	飲酒	①生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している人の割合の減少 (一日当たりの純アルコール摂取量が男性40g以上、女性20g以上の人の割合)	男性 12.7% 女性 6.3%	H23年度	男性 11.8% 女性 6.4%	H27年度	男性 10.0% 女性 5.0%	H34年度	①ハイリスク者へのはたらきかけ ・酒害者回復クラブ、アルコール相談の実施(月1回) ②適正飲酒の推進 ・健診受診者への個別指導、健康まつり等での普及啓発
		②妊娠中の飲酒をなくす	4.6%		1.96%		0%		
	喫煙	①成人の喫煙率の低下	12.1%	H23年度	13.2%	H27年度	10%	H34年度	①禁煙支援の推進 ・禁煙電話相談(月1回)、個別支援(随時) ②受動喫煙防止対策の推進 ・市内381か所の公共施設に受動喫煙防止啓発ポスターを掲示(ポスターは市内小中学生より募集) ・自治会集会所の受動喫煙状況調査アンケートの実施
		②妊娠中の喫煙をなくす	2.1%		3.2%		0%		
	歯・口腔の健康	①歯の喪失防止		H23年度	82.4%	H27年度	80%以上	H34年度	①成人を対象に歯科保健知識の普及啓発 ・出前講座、糖尿病予防教室、水中運動教室、特定健診結果説明会等での歯周病予防教育の実施 ・口腔機能維持、向上教育の実施 ②乳幼児保護者の、意識の向上を図るための働きかけ ・妊婦教室、児の相談事業において保護者の個別歯科指導の実施 ③むし歯ハイリスク児への支援 ・管理栄養士・保健師と連携した個別指導の実施 ④幼児、学童の生活習慣と関連させた歯科保健教育の実施 ・年齢に応じた媒体を使用し、はみがき実習と歯科講話を実施 ⑤歯・口腔の健康づくり条例(仮称)制定予定
		・60歳で24歯以上の歯を有する人の割合の増加	69.7%		86.2%		90%以上		
		・40歳で喪失歯のない人の割合の増加	89.7%						
		②歯周病を有する人の割合の減少		H23年度	43.5%	H27年度	25%	H34年度	
		・20歳代における歯肉に炎症所見を有する人の割合の減少	42.7%		36.2%		25%		
		・40歳代における進行した歯周炎を有する人の割合の減少	32.6%		49.4%		45%以下		
③幼児・学齢期のむし歯のない子の増加			H23年度	93.3%	H27年度	90%以上	H34年度		
・3歳児でむし歯のない子の割合の増加	88.9%	0.36歯		0.5歯以下					
・12歳児の一人平均むし歯数の減少	0.65歯								
の健康 ニ 休 こ ろ の 健 康	①自殺者数の減少 (人口10万人当たり)	19.8	H22年	25.7	H27年	減少	H34年	①自殺に関する知識の普及啓発 ・窓口担当者会議の実施 ・こころの健康についての講話、イベント等での普及啓発を実施	
健康づくりに取り組む関係機関・団体との連携の強化	連と団市 携の体民	①健康推進員活動	実施		実施		実施継続	H34年度	①地域住民と共に健康づくり活動の実施 ②地域への健康情報の回覧、集会所の受動喫煙防止対策を実施
	関係機 携関との連	①連絡会議の開催	実施	H23年度	実施	H27年度	実施継続		①健康づくり推進協議会、食育推進会議、CKD及び糖尿病予防連絡会議、地域職域連携実務者会議の開催 ②働く世代の健康づくりのため、医療保険者と健康づくり等の協定を締結予定 (人口カバー率70%程度の特定健診結果のデータ分析ができ、従来より市の健康状況の把握が可能)
	健康情 報の提	①健康情報の提供	実施		実施		実施継続		①市ホームページ上の健康づくりのページ「健康なび」を充実 イベント情報など掲載 ②健康づくり取り組み隊の募集・市ホームページで情報提供 ③NPO法人中津川市体育協会が一般市民向けに、けんぱちポロシャツの販売をすることにより、健康づくりに取り組むきっかけ作りを拡大